

必ず、あなたの役に立つ 戸別受信機を設置しましょう★

■ 戸別受信機を設置しましょう

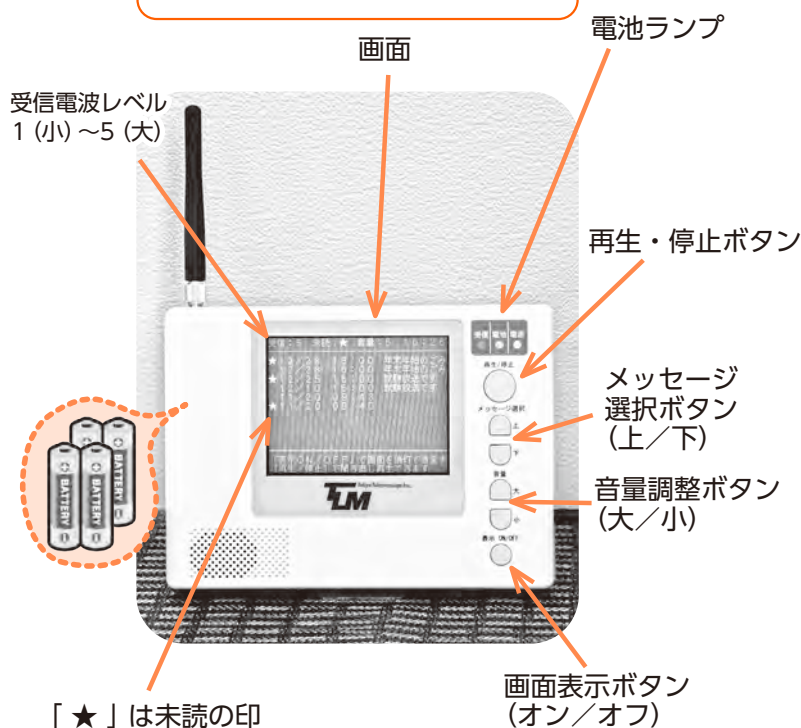
- 戸別受信機は、災害時の避難情報や町からの重要な緊急情報を受信する機器で、町からの情報だけでなく、住んでいる自治区からの情報（区内の行事などのお知らせ）も配信される便利な機器です。まだ、箱から出していない人は、設置をお願いします。

■ 電源（コンセント・電池）の接続

戸別受信機の電源は、普段は AC アダプターを接続し、家庭用コンセント（以下、コンセント）から取ってください。電池は停電時に使用しますので、必ず入れておいてください。

- コンセントに接続していても、電池は自然消耗します。また、コンセントに接続せずに電池だけで使用すると、2、3日程度で電池がなくなります。
- 電池がなくなった場合（電池を入れていない場合も）は、受信機右上の「電池」のランプが赤く点灯するので、電池を交換してください。
- 液漏れによる故障などを防ぐためにも、電池は1年に1回は交換しましょう。
- 電池は、「+」「-」を正しい向きで入れましょう。間違えると液漏れを起こし、故障や出火の原因になってしまいます。

電池を入れた状態で AC アダプターにつなぐと、緑ランプが点灯します（電池切れの場合は、赤ランプが点灯します）。



■ 受信の確認

- 受信し、読んでいない情報には、「★」印が付いています。「再生・停止」ボタンを押して、内容を確認しましょう。
- 音量は、受信機の右側下段の音量調整用の「大」「小」ボタンで調整できます。

■ 戸別受信機は町からの貸与品です

- 戸別受信機は、町からの貸与品です。大切に扱ってください。芦屋町から転出する場合は、必ず総務課に返却してください。また、一人暮らしの人が亡くなった場合も返却が必要です。
- 町内で転居する場合は、転居先の自治区の情報が受信できるよう、設定を変更しますので、総務課に戸別受信機を持ってきてください。

▷ 問い合わせ 戸別受信機に係る全般のこと＝庶務係（☎ 2 2 3 - 3 5 7 2）

戸別受信機の機器や使用方法＝防災ラジオコールセンター（24時間対応 年中無休）（☎ 〈0 1 2 0〉 3 8 8 - 2 8 0）

芦屋歴史紀行

その三百三十一

ミシンと洋服

温かさと思い出す②

洋装の歴史

昭和中期生まれの人の中には、学校から帰ってくると、明るい窓のある部屋で、お母さんがガタガタとミシンを踏んで洋裁をしていた、そんな思い出を持つ人も多いのではないだろうか。しかし、洋服は当然ながら、わが国発祥ではありません。洋服はいつ頃から普及し始めたのでしょうか。

〈明治期〉

軍服の制定や鹿鳴館で夜会が行われるようになったことに伴い、洋装はまず上流社会にのみ普及したようです。



△明治期の洋装

男性の洋装化は比較的早く進み、子ども服も活動着として推奨されました。一方、一般の女性に洋装が普

〈大正期〜昭和初期〉

及し始めたのは大正後期からのようです。また、昭和に入ると国民服令の制定により、簡易的な洋服または和服の改良服が平服となりました。女性の洋装化の大きな契機となったのは、大正12（1923）年に起こった関東大震災。和服を着用していた女性は裾や袂に動きをさまたげられて逃げ遅れ、その被害は甚大でした。

〈太平洋戦争中〉

昭和15（1940）年に入ると、戦時の物資統制令下で国民の衣生活の合理化・簡素化が主目的となります。そして、厚生省と陸軍省の管理下にあった被服協会により国民服が制定され、法制化されました。ただし、着用が強制されたのではなく、太平洋戦争後半までは国民服を着ていない人が多いような状況でした。



△太平洋戦争中の服装

なお、国民服と同様の主旨から女性の着用が推奨される服装として、

婦人標準服が昭和16（1941）年から研究され、翌年4月に決定されました。しかし、あまり普及はせず、ほとんど着られませんでした。そのような中、全国組織の愛国婦人会は、「モンペ」を制服として採用します。モンペは消火・避難などの時、素早く動けるように推奨された防空着で、足首をしばったズボンのような服です。ただ女性たちはモンペと言っても、服装の美しさを求めました。ある国防に関する記事では、モンペを「ズボンに改良したものは、モンペを優美に改良したもの、これに短袴をつければちょっとした買い物などの外出用にもなります。モンペの上に着る上衣と頭巾をつければ、そのまま空襲下の防火防毒に活躍する女軍の姿となります」とうたっています。

さらに戦局が悪化して空襲が始まると、女性たちは常にモンペを身につける生活になりました。当初はほとんど普及しませんでした。本土空襲が開始されてからは、女性のほとんどが日常着としてモンペを着用するようになりました。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼念願の航空祭撮影に行っていました。パイロットの皆さんの前には、握手やサインを求めてたくさんの方が列を作っていました。開会時間が差し迫ってもその列が途絶えることはなく、人気ぶりはさながらアイドルの握手会のように。また、パイロットの皆さんにはタックネームとあって、非公式のあだ名があるそうですが、「リアル」や「エデン」など由来が気になるものばかり。いつか聞いてみたいと思います。

（野中）

▼10月に育休から戻ってきました。育休中に歯医者に行くこと、虫歯があることが分かりました。改めて歯の大切さを理解し、口くうケアを怠らないようにしようと思いました。フレイル予防にも口くうケアは大事なので、皆さん歯を大切にしましょう（フレイル予防は12〜13ページ健康な町あしやに掲載しています）。

（手塚）

▼仕事柄、いろんな自治体のLINEの友だち登録をしています。イベント情報などが手元に届くのはありがたいですね。皆さんは芦屋町のLINEに登録していますか。11月からは受信設定で欲しい情報だけを受け取れるようになっていきます。友だち登録・受信設定をして活用してくださいね。

（那木）

